



# 自分に負けない 強さを育てたい

広島県安芸郡海田町にあるボクシングジム「NPO 法人 フリースクール・グロービー」。  
幅広い年代の男女がボクシングを通じて自分と向き合い、心を鍛えています。

特定非営利活動法人 **フリースクール・グロービー**

## 真剣に叱り、真剣に褒める。 子どもの成長が何よりの喜び

「NPO法人 フリースクール・グロービー」は、誰でも通うことができるボクシングジム。現在は5~63歳の幅広い年齢層の64名が、心身の強化や健康維持などのため、週に3~4回トレーニングに励んでいます。「元々はボクシングスクールとして16年間活動していたんですよ。一時期は閉鎖の危機に陥ったこともあったんですが、生徒たちが河川敷で自主トレーニングをしている姿を見て、継続を決意しましたね。」と話す代表の丸亀さん。現在はボクシングの指導に加え、子どもたちの学校生活もサポート。宿題や課題ができる部屋を設け、丸亀さん自らも講師として指導しています。学校や家庭で話せないことを、ここでは話してくれる子どもも多いとか。非行・不登校・いじめなどの問題を抱えた子どもも多く、一人ひとりの心と真剣に向き合っています。高校になんか行かないと言っていた中学生がグロービーに通ううちに変わっていき、高校に進学し、学級委員長になったということも。ボクシングを通じて心の弱さを乗り越えることができると、自分に自信が付き、生活も変わってくると丸亀さんは言います。また、時間を守る・思いやり・伝える力など、社会の中で必要な能力を身につけさせることにも、力を注いでいます。「子どもの成長が見られた時、立ち直る姿を見た時にやりがいを感じますね。子どもたちが無事に学校を卒業してくれることが、一番の幸せです。」と丸亀さん。時には優しく、時には厳しく、地域ぐるみで子どもを育てるとい昔ながらの環境が、ここにはありました。



代表  
**丸亀 恭敬**  
まるがめ やすのり

高校、大学とボクシング部に所属。その後広島県アマチュアボクシング連盟 常任理事など、他の仕事と掛け持ちをしながらも、グロービーでの活動に奮闘している。

▶「サンドバッグが楽しい!」と笑顔で練習に励む黒田くんは、小学3年生  
▲2012年に広島で開催される「中国ブロック高校選抜大会」出場権を獲得し、山口国体に続き、2回目の全国大会出場をめざす、ライトフライ級の東森くん。高校1年生、軽快なステップと真剣な表情は、見ているこちらまで息をのみませます



試合は絶対  
勝ってやる!



努力が詰まった  
グローブだよ。

棚にきれいに並べられたグローブやミット。ジムの掃除や管理も、自分たちで責任を持っています



ボクシングに欠かせない、「グローブ」。汚れや傷は、日々の練習のたまものです。



試合中に頭を守る、「ヘッドギア」。頭をしっかりと守るために、2年に1度新しくするのだそうです。

## 全国大会に向けて、 一生懸命 練習中!

中元芽生さんとともに、広島県女子ボクシング大会(演技の部)で優勝した佐々木まいさん。高校2年生。2012年に広島で開催される「全日本女子ボクシング選手権大会」広島県代表権を獲得!



1



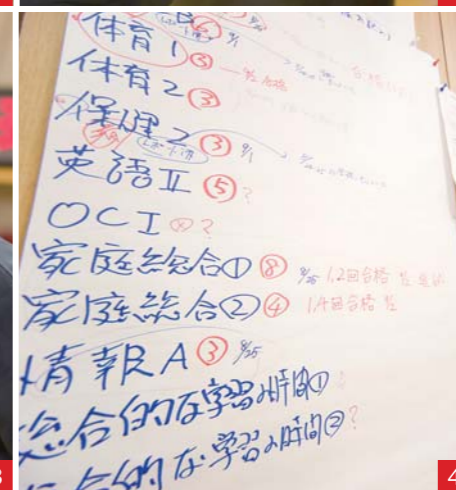
2

1 子どもが勉強するために設置された、ジム2階の学習教室。机とイス、ホワイトボードなど、学校の教室と同じような設備を整えています。2 ダイエットと健康維持のために参加しているという山崎さんは、ボクシングを始めて3カ月で、5kgの減量に成功!「おう!おう!パンチ!」というコーチの声に合わせて、ミット打ちに励みます。3 週に3回ほど指導に来ている原田コーチは、グロービーに通う子どもの保護者でもあります。4 学習教室に通っている子どもたちは、学校の宿題や課題の、目標と結果を壁に貼り付けた紙に記入して、先生と共有します

フリースクール・グロービーには、「中国ろうきんNPO寄付システム」を通じて、ろうきん利用者からの寄付金が配分されました。「中国ろうきんNPO寄付システム」について詳しくは、本誌19ページをご覧ください。



3



4



取材協力/  
NPO法人 フリースクール・グロービー  
広島県安芸郡海田町東昭和町6-13  
☎082-823-8949

グロービー

検索